

**アジア政経学会 2024 年度第 3 回理事会
議事録**

【日時】：2024 年 9 月 21 日（日）13:01~14:34

【会場】：オンライン（Zoom ミーティング）

【議長】：清水一史理事長

【理事・評議員総数】：理事 24 名、監事 2 名

【出席者 22 名】：青木、阿古、安倍、林、江藤、遠藤、大庭、加茂、川島、日下、倉田、佐藤創、清水、鈴木隆、中岡、中西、中溝、本名、益尾、増原、三重野（以上理事、敬称略）、佐藤百合（監事、敬称略）

【欠席者 4 名】：岩谷、小嶋、鈴木絢女（理事、敬称略）、松田（監事、敬称略）

【オブザーバー】：張曉紅（香川大学。2024 年度秋季大会の大会実行委員長。敬称略）

13 時 01 分に清水一史理事長が開会を宣言。理事、監事ともに定数を満たしているので、本理事会が有効に成立する旨、併せて宣言された。清水理事長が前回理事会に欠席したことについてのお詫びと前回春季大会の成功裏での開催への感謝を述べた。その後、議案の審議に入った。

審議事項

1. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業、学会ウェブサイト収録の許諾について（HP 担当理事：青木理事、鈴木隆理事）

鈴木理事より、配布資料に基づき、国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）により、アジア政経学会ホームページ（以下学会 HP）の情報の収集を受け入れる提案がなされた。収集された情報は、「学協会」のカテゴリの中に入ることが説明された。学会 HP が歴史史料になるとともに、国会図書館の検索に学会 HP が引っかかるようになることで学会の活動の周知にもなるという長所があること、反対する理由も特段思いつかないことが説明された。審議の結果、満場異議なく承認された。

2. 入会者・休会者・退会者・会費優待者の承認（総務担当理事：江藤理事、増原理事）

増原理事より、配布資料に基づいて、入会申請 8 件、退会申請 3 件、御逝去 1 件、会員優待申請 5 件があったことが報告された。特段の異議なく承認された。

3. 投稿奨励金の制度（編集担当理事：益尾編集長、倉田副編集長、日下理事、佐藤創理事）

益尾編集長および倉田副編集長より、配布資料に基づき、『アジア研究』の広告代と投稿奨励策について提案がなされた。益尾編集長より、『アジア研究』合併号化以降の広告代について、増収が望みにくいことから、据え置きが提案された。審議の結果、満場異議なく承認された。

投稿奨励策については、2024年3月開催の第7回理事会において、継続審議事項となっていた「特集企画公募制度（査読あり）」および「アジア調査旅費助成制度」について、それぞれ益尾編集長および倉田副編集長から、より具体化した提案がなされた。益尾編集長より、「特集企画公募制度（査読あり）」の趣旨として、学会員ならびにその研究協力者が、グループ研究の成果をまとめて刊行できる場を設けることにより、『アジア研究』への投稿を奨励するということが改めて確認された。運用として企画責任者に編集委員に準じた役割を委託することが新たに説明された。審議の結果、満場異議なく承認された。なお、審議の過程で、従前の特集企画が査読ありと見なせるかという論点が提起され、議論の結果、従前の特集企画のうちフルペーパーについては、査読付きとして扱うことが了解された。

また、倉田副編集長より、「アジア調査旅費助成制度」について、発行回数を減らして経費を削減することで生まれた資金を元手として、会員に投稿を奨励するための海外調査旅費の助成を行う趣旨であることが確認された。その上で、応募資格、応募書類、助成額、審査体制が説明された。さらに、匿名での査読に影響しないよう、助成決定の事実の公表可能時期についての制度設計にも触れられた。審議の結果、満場異議なく承認された。

報告事項

1. 2024年度秋季大会準備進捗状況（2024年度秋季大会香川大学実行委員会委員長：張曉紅）

オブザーバーの張氏より、2024年度秋季大会の準備状況が報告された。具体的には、登録状況、会場割当、掲示、備品、懇親会、託児室等について共有された。

2. 『アジア研究』編集進捗状況（編集担当理事：益尾編集長、倉田副編集長、日下理事、佐藤創理事）

益尾編集長より、配布資料に基づき、第70巻第4号、第71巻第1・2号の『アジア研究』の編集作業が順調に進んでいる旨について、報告された。既に発送済みの第70巻第3号から全ての原稿が早期公開の対象になったことが付言された。

3. 2025年度春季大会および6月理事会の日程について（清水理事長、大会担当理事：加茂理事、中溝理事）

清水理事長及び加茂理事より、2025年度春季大会および6月理事会の日程について、報告が行われた。加茂理事より、開催予定校の都合から、現時点では、2025年5月24日及び25日、6月7日及び8日、6月14日及び15日（ともに土日）の3つの選択肢を残すことが希望された。また、会場について、慶応義塾大学湘南キャンパス、あるいは、三田キャンパスでの開催を検討していることが説明された。これらの選択肢について、特段の異議はなかった。

4. 2024年度春季大会開催報告（大会担当理事：大庭理事、国内外連携担当理事：阿古理事、本名理事）

大庭理事より、配布資料に基づき、2024年度春季大会開催の状況と会計について報告された。本研究大会の開催準備にあたって対応が必要であった諸課題が詳細に説明され、今後の学会運営に有益な教訓が共有された。

阿古理事より、当日投影された資料に基づき、樫山セミナーの会計報告及び開催報告がなされた。今後の樫山セミナー開催の見通しについて、共有がなされた。

5. 70周年記念事業（川島副理事長）

川島副理事長より、70周年記念事業の進捗について報告が行われた。今後は、学会HPに3分程度のビデオを公開して終了予定であることが共有された。

6. 定例研究会について（定例研究会担当理事：安倍理事、中西理事）

中西理事より、9月分の定例研究会は報告の希望者がいなかったため、不開催としたことが共有された。

7. ニュースレターについて（ニュースレター担当理事：遠藤理事）

遠藤理事より、当日投影された資料に基づき、第62号についてスケジュール通り進めていることについて共有がなされた。海外発送の件については、10件程度で少なく、直近増加しているわけでもないため、従来通り発送を続けて、しばらく様子を見る方針が報告された。また、第63号についても編集作業を進めていることが共有された。

8. 国際会議派遣補助による学会参加について（清水理事長）

清水理事長より、日本経済学会連合からの国際会議派遣について、高橋知子助教（京都大学）への補助事業が完了したことが報告された。

9. 『アジア研究』売掛金の回収について

清水理事長より、6月の評議員会でも指摘されていた『アジア研究』売掛金の回収が進められていることが共有された。

10. その他

清水理事長より、会員投票の件について、副理事長、総務担当理事、総務補佐が進めている旨が共有された。

14:34 終了。

以上

令和6年9月21日

一般財団法人アジア政経学会 2024年度第3回理事会

議長（理事長）

清水 一史



議事録署名人（監事）

佐藤 百合

